



平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月7日

上場会社名 佐島電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 7420 URL <http://www.satori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 一敏

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 茂木 正樹

TEL 03-3452-7187

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日

平成23年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	86,719	3.5	810	83.1	520	△20.4	334	19.5
22年5月期第2四半期	83,750	△12.8	442	△52.8	653	△52.9	279	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	19.71	—
22年5月期第2四半期	16.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	75,060	28,001	37.3	1,651.26
22年5月期	77,098	28,249	36.6	1,665.87

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 28,001百万円 22年5月期 28,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	5.00	—	15.00	20.00
23年5月期	—	10.00	—	—	—
23年5月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	3.5	1,750	16.0	1,350	△22.8	950	△14.9	56.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年5月期2Q	17,946,826株	22年5月期	17,946,826株
② 期末自己株式数	23年5月期2Q	988,884株	22年5月期	988,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年5月期2Q	16,957,975株	22年5月期2Q	17,258,126株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、説明内容（音声）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年1月20日（木）・・・・・・証券アナリスト、機関投資家向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国をはじめ新興国を中心に景気の回復基調は継続したもののその勢いは鈍化し、更には欧州諸国の金融不安による景気の下振れ懸念などにより先行きは不透明な状況で推移いたしました。一方、国内においても新興国の需要に牽引され景況に一部回復の兆しが見られたものの、急激な円高の進行と定着による海外生産シフトの傾向が強まるなど、世界経済同様先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は円高の影響による円換算の減があったものの867億19百万円（前年同期比3.5%増）となり、営業利益は売上総利益率の改善により8億10百万円（前年同期比83.1%増）となりました。経常利益は為替差損の発生により5億20百万円（前年同期比20.4%減）となり、四半期純利益は3億34百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第2四半期連結累計期間は、デジタルカメラ向けA S I C、ノートパソコン向けバッテリー、電動工具向けスイッチの増加及び設備投資の一部回復によりF A機器が堅調に推移し、売上高は452億32百万円、セグメント利益は4億54百万円となりました。

② 海外事業

当第2四半期連結累計期間は、パソコン・TV向けドライバIC売上が大幅減となったものの、中国市場における半導体及び電子部品の需要が堅調に推移したことに加え、USB 3.0対応LSIの売上高が増加、またインド市場向けLCD及び欧州顧客向けメモリビジネスの開始により、売上高は414億87百万円、セグメント利益は3億64百万円となりました。

(注) 第1四半期連結累計期間から、セグメント区分を変更したため、各セグメントの対前年同四半期との比較は記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて20億37百万円減少し、750億60百万円となりました。また、負債は、前連結会計年度末に比べて17億89百万円減少し、470億58百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べて2億47百万円減少して280億1百万円となり、自己資本比率は37.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少により資金の減少はあったものの、売上債権の減少及び短期借入金の純増加による資金の増加により、前連結会計年度末に比べて6億55百万円増加し、69億37百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は42百万円（前年同期は10億40百万円の使用）となりました。

これは主にたな卸資産の増加及び仕入債務の減少により資金が減少したものの、売上債権の減少及び税金等調整前四半期純利益の計上により資金が増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億53百万円（前年同期比327.0%増）となりました。

これは主に投資有価証券の取得による支出により資金が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は9億54百万円（前年同期は19億円の使用）となりました。

これは主に短期借入金の純増加により資金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月17日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表し、平成22年7月14日に公表した平成23年5月期の連結業績予想を修正しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末に算定した貸倒実績率により、一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、主として加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

ただし、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じ、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は30百万円減少しております。

(四半期連結損益計算書の表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,033	6,366
受取手形及び売掛金	44,896	48,907
有価証券	12	—
商品及び製品	10,415	8,971
仕掛品	850	573
原材料及び貯蔵品	13	15
その他	1,712	1,736
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	64,921	66,555
固定資産		
有形固定資産	5,144	5,233
無形固定資産		
のれん	3	7
その他	1,218	1,216
無形固定資産合計	1,222	1,223
投資その他の資産		
その他	3,901	4,225
貸倒引当金	△129	△139
投資その他の資産合計	3,771	4,085
固定資産合計	10,138	10,542
資産合計	75,060	77,098
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,247	28,112
短期借入金	8,513	7,129
1年内返済予定の長期借入金	3,150	3,850
未払法人税等	160	109
その他	1,254	1,304
流動負債合計	38,326	40,506
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	5,253	4,874
退職給付引当金	2,030	1,983
その他	448	484
固定負債合計	8,732	8,342
負債合計	47,058	48,848

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,611	2,611
資本剰余金	3,608	3,608
利益剰余金	25,798	25,718
自己株式	△1,252	△1,252
株主資本合計	30,765	30,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37	24
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	△505	△505
為替換算調整勘定	△2,295	△1,956
評価・換算差額等合計	△2,763	△2,435
純資産合計	28,001	28,249
負債純資産合計	75,060	77,098

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
売上高	83,750	86,719
売上原価	78,724	81,060
売上総利益	5,026	5,659
販売費及び一般管理費	4,583	4,848
営業利益	442	810
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	13	17
仕入割引	—	50
営業権譲渡益	431	36
その他	121	44
営業外収益合計	574	155
営業外費用		
支払利息	143	119
為替差損	188	237
その他	32	88
営業外費用合計	363	445
経常利益	653	520
特別利益		
投資不動産売却益	123	—
その他	2	1
特別利益合計	125	1
特別損失		
投資有価証券評価損	327	23
投資有価証券売却損	—	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29
その他	1	0
特別損失合計	328	73
税金等調整前四半期純利益	451	448
法人税、住民税及び事業税	116	112
法人税等調整額	54	2
法人税等合計	171	114
少数株主損益調整前四半期純利益	—	334
四半期純利益	279	334

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	451	448
減価償却費	164	157
受取利息及び受取配当金	△21	△23
仕入割引	△62	△50
支払利息	143	119
投資不動産売却損益(△は益)	△123	—
投資有価証券評価損益(△は益)	327	23
売上債権の増減額(△は増加)	△4,938	2,893
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,011	△1,931
未収営業権譲渡益の増減額(△は増加)	△175	—
仕入債務の増減額(△は減少)	3,751	△1,990
未払消費税等の増減額(△は減少)	51	218
その他	△583	272
小計	△3	136
利息及び配当金の受取額	20	25
仕入割引の受取額	62	50
利息の支払額	△136	△121
特別退職金の支払額	△935	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△47	△48
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,040	42
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△218	△98
投資不動産の売却による収入	264	—
定期預金の払戻による収入	300	—
定期預金の預入による支出	△368	—
その他	△14	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,836	1,529
長期借入れによる収入	—	400
長期借入金の返済による支出	△50	△700
配当金の支払額	—	△253
その他	△13	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,900	954
現金及び現金同等物に係る換算差額	△405	△188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,381	655
現金及び現金同等物の期首残高	10,843	6,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,461	6,937

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)

	電子部品 (百万円)	電子機器 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	75,612	8,138	83,750	—	83,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	91	124	(124)	—
計	75,644	8,229	83,874	(124)	83,750
営業利益	1,069	210	1,279	(837)	442

(注) 1. 事業区分の方法は、内部管理上採用している取扱商品・製品区分によっております。

2. 各事業区分の主な商品・製品の名称

(1) 電子部品…メモリ、マイコン、ASIC、表示素子、半導体素子、電気機材、一般電子部品、スイッチ製品、マイコン・ASIC開発ソフト

(2) 電子機器…情報機器、生産設備機器、情報通信関連製品、PCシステムソフト、OEM量産製品

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	米州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	41,539	41,275	640	295	83,750	—	83,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,989	260	12	4	2,267	(2,267)	—
計	43,528	41,535	652	300	86,017	(2,267)	83,750
営業利益	55	364	20	8	449	(7)	442

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…台湾、香港、シンガポール共和国、中華人民共和国

(2) 米州…アメリカ合衆国

(3) その他…ドイツ連邦共和国

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	47,955	654	305	48,914
II 連結売上高(百万円)				83,750
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	57.2	0.8	0.4	58.4

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…台湾、香港、シンガポール共和国、ベトナム社会主義共和国、タイ王国、大韓民国、中華人民共和国

(2) 米州…アメリカ合衆国

(3) その他…ドイツ連邦共和国、チェコ共和国

3. 海外売上高は、四半期連結財務諸表提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、最高経営意思決定機関が定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内事業と海外事業で構成し、特性に応じた包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは地域別のセグメントから構成されており、「国内事業」と「海外事業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は、以下のとおりであります。

「国内事業」は、当社及び国内子会社4社から構成されており、各社とも電子部品及び電子機器を取り扱っております。

「海外事業」は、中華圏(中国、香港、台湾)をはじめ、アジア、米州、欧州の海外子会社10社から構成されており、各社とも電子部品及び電子機器を取り扱っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,232	41,487	86,719	—	86,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,081	291	2,373	△2,373	—
計	47,313	41,779	89,092	△2,373	86,719
セグメント利益	454	364	818	△8	810

(注) 1. セグメント利益の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。